

電子入札における電子くじの実施方法について

令和3年4月から導入する電子入札では、予定価格内で最低価格の応札者が複数いた場合、電子くじにより落札候補者を決定します。その概要については次のとおりです。

1. 電子くじに利用される情報

入札書提出日時	入札書が電子入札システムに正常に格納された日時
くじ入力番号	応札者が入札書提出時に入力した3桁の任意の番号 ※紙入札参加者については、入札書に記載された「電子くじ入力番号」を契約課担当者が開札時に「くじ入力番号」として入力します。 ※くじ入力番号が未入力・未記載の場合は、「000」として取り扱います。
乱数	入札書受付時に電子入札システムが自動付番するランダムな3桁の数字

2. 抽選方法

- ① くじ対象者のくじ入力番号と乱数を加算し、その結果の下3桁をくじ番号とします。
- ② くじ番号を全て加算します。
- ③ 加算されたくじ番号を対象者の数で除算します。このときの余りの値が当たり番号となります。
- ④ くじ対象者を入札書提出日時の昇順に、0からの応札順序を設定します。
※ 紙入札参加者は電子応札者の後順となり、紙入札参加者が複数いた場合は名簿掲載順で応札順序を設定します。
- ⑤ 当たり番号と応札順序が一致する業者が落札候補者となります。

(例1) 3者が応札し、全者同額の場合

業者名	第1回金額	第2回金額	第3回金額
ア業者	5,000,000		
イ業者	5,000,000		
ウ業者	5,000,000		

順位	業者名	くじ入力番号 (a)	乱数値 (b)	くじ番号 (c)	入札書提出日時	応札 順序
1	イ業者	123	111	234	2021/1/1 10:11:00	0
2	ア業者	456	222	678	2021/1/3 12:10:01	1
3	ウ業者	789	333	122	2021/1/3 12:10:02	2
				合算値 (d)		
				1034		

① 各業者のくじ番号を算出する。

イ業者	$a_1 + b_1 = c_1$	(234)
ア業者	$a_2 + b_2 = c_2$	(678)
ウ業者	$a_3 + b_3 = c_3$	(1122) ※4桁になる場合は下3桁で計算

② 各業者のくじ番号の合算値を対象業者数で除す。

d (1034) \div 3 (今回の業者数) = 344 余り 2 \Rightarrow 応札順序 2番であるウ業者に決定

(例2) 5者(うち2者は紙入札)が応札し、4者が同額の場合

業者名	第1回金額	第2回金額	第3回金額
ア業者	5,000,000		
イ業者	5,600,000		
ウ業者	5,000,000		
エ業者	5,000,000		
オ業者	5,000,000		

※紙入札提出業者

※紙入札提出業者

順位	業者名	くじ入力番号 (a)	乱数値 (b)	くじ番号 (c)	入札書提出日時	応札 順序
1	オ業者	321	425	746	2021/1/1 10:11:00	0
2	ウ業者	654	156	810	2021/1/3 12:10:01	1
3	ア業者	987	879	866	紙入札提出業者	2
4	エ業者	210	890	100	(名簿登載順)	3
				合算値 (d)		
				2522		

① 各業者のくじ番号を算出する

オ業者	$a_1 + b_1 = c_1$	(746)
ウ業者	$a_2 + b_2 = c_2$	(810)
ア業者	$a_3 + b_3 = c_3$	(1866) ※4桁になる場合は下3桁で計算
エ業者	$a_4 + b_4 = c_4$	(1100) "

② 各業者のくじ番号の合算値を対象業者数で除す

d (2522) \div 4 (今回の業者数) = 630 余り 2 \Rightarrow 応札順序 2番であるア業者に決定